令和5年度

令和5年6月29日 名古屋市立南天白中学校

南天自通信

REOプロジェクト 広報版 第1号

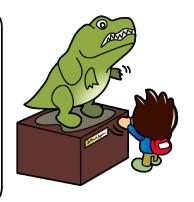


6月13日から15日の3日間、3年生は修学旅行に行ってきました。この修学旅行中に先生が3年生に伝えてきたのは、「みんなで行けたから楽しかったという旅行にしてください。」ということでした。さて、その結果は? 修学旅行後に3年生が書いた「頑張っていた友達への感謝のメッセージ」から見てみましょう。

- ① (Aさんへ)都内分散で電車を使う時、駅員さんにどこに行けば目的地に 着くかを聞いて確かめてくれたり、上野動物園から出るとき、思っていたか らていた出口から出れなかったときに、職員の人に聞いてくれたので助か りました。
- ② (Bさんへ)いろいろなときに、みんなの安全確認をしてい てとても頑張ってました。都内分散のときは、道を調べてく れてとても助かった。Bさんがいなかったら、多分、迷子にな っていた。Bさんのおかげて笑顔があふれました。



- ③ (Cさんへ)行きの新幹線やバス、都内分散、ペンションで、ほとんどの時間一緒に いて楽しかったです。トイレに行きたいと言ったらすぐに連れて行ってくれてありが とう!
- ④ (Dさんへ)まず、ずっと一緒にいて、楽しませてくれてありがとう。カヌーでは協力し、息を合わせないとうまくいかないけど、お互い合わせるのがうまく、一番うまかったかも。感謝。ディズニーでもずっと笑顔で楽しませてくれてありがとう。都内分散のとき、状況がいろいろ変わっても、すぐ対応してくれて助かったよ。



⑤ (Eさんへ)電車に詳しくて、同じ班にいてとても助かったです。班の メンバーをまとめてくれて、険悪なムードにならず楽しかったです。

それぞれの読んでいると、感謝の言葉とともに、一人一人が修学旅行で感じた「楽しかった」という思いが伝わってきます。この他に、個人に対してでなく、もう少し大勢の人たちに対するメッセージもあったので、それらを見てみましょう。

⑥ (実行委員さんへ)人生で一度しかない修学旅行のしお りを作ってくれてありがとうございました。浅草からペン ションまでの移動の中のバスレク、とてもおもしろかった です。私たちを楽しませてくれてありがとうございました。



⑦ (女子の皆さんへ)バスの中、ペンションのとき、一緒に遊んで、楽しい思いい出をたくさんつくれて楽しかった!ご飯のときにたくさん話せたのがうれしかった。ありがとう!

修学旅行の最終日の解散式で、先生が3年生の皆に「みんなで行けたから楽しかった!という思いを感じることができましたか?」という質問をしたとき、大勢の人が「ハイ!」と答えてくれました。

当然、3日間の旅行の中では、少々腹の立つことや、いやなこともあったかもしれません。でも、3年生の皆さんの書いた文章を見ていると、解散式のあの「ハイ!」という声は、本当の気持ちから出た声だったんだなと思いました。

その上で、皆さんに注目してもらいたいのは、その楽しさを生み出した ものは何なのかです。

もう一度、ここに載せた文章を見て下さい。見えてくるのは、友達の「役に立とう」とか、友達を「助けよう」「楽しませよう」などなど、友達のことを考え、思いやろうとする気持ちです。

当たり前のことかもしれませんが、この気持ちの大切さに、もう一度目 を向けてみてください。

同じような思いを、 I 年生や 2 年生も、校外学習(名古屋港水族館)や学年レク(校内かくれんぼ)で感じることができていたならいいなと思っています。